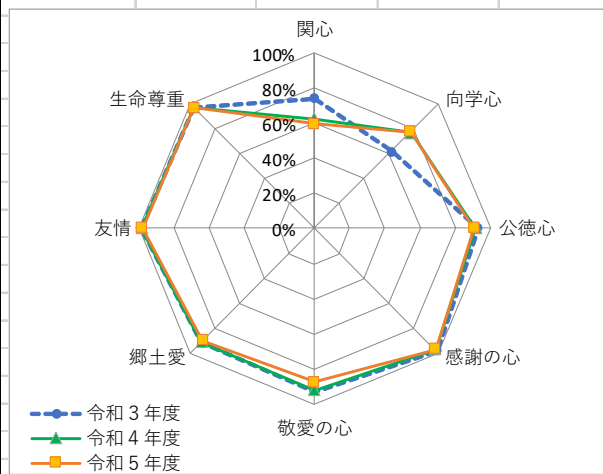


令和5年度「志の心」意識調査総括票

有明中学校生徒

肯定的意見 % (小数第1位まで)

	関心	向学心	公德心	感謝の心	敬愛の心	郷土愛	友情	生命尊重
令和3年度	74.4%	62.0%	93.0%	98.4%	93.0%	91.5%	99.2%	97.7%
令和4年度	62.4%	77.2%	91.9%	97.3%	91.9%	91.3%	98.7%	98.0%
令和5年度	59.8%	77.7%	91.1%	97.3%	87.5%	90.2%	98.2%	97.3%



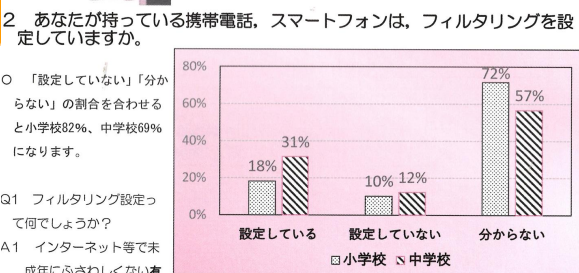
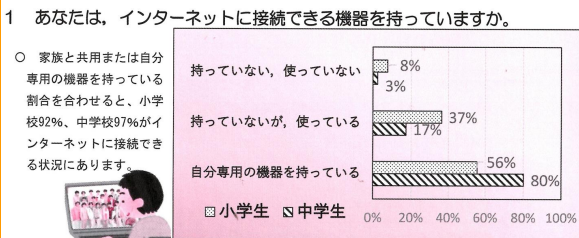
- 1 道徳科の学習は好きですか。
- 2 将来の夢や目標にむけてがんばっていますか。
- 3 社会や学校のきまりを守っていますか。
- 4 これまで育ててくれた家族に感謝していますか。
- 5 地域のためにがんばった人や、地域のおじいちゃん、おばあちゃんを尊敬していますか。
- 6 自分が育った地域の行事や自然を大切にしていますか。
- 7 友達を大切にしていますか。
- 8 自分や他の人の命を大切にしていますか。

「志の心」意識調査生徒113人の結果です。道徳科に関する肯定的な意見が低いことが分かります。学校でも今後、今まで以上に道徳科への取組を深めていきたいと思ひます。

「志アップ子育て手帳」を2学期はじめにお配りしてあります。子育てのためのヒントが多数掲載されています。ご活用ください。P18とP19の紹介です。

インターネット利用のルールを話し合おう

家庭内ルールづくり・継続的な取組で子どもの心身の健康を守ろう (令和4年度志布志市インターネット利用等実態調査結果から)



Q1 フィルタリング設定って何でしょうか？
A1 インターネット等で未成年にふさわしくない有害な内容のウェブサイトにアクセスできないようにすることです。

Q2 フィルタリング設定は、必ずしなければならないのでしょうか？
A2 鹿児島県青少年保護育成条例第26条及び第26条の2により、保護者は、フィルタリングの利用等により、子どもが有害情報閲覧・視聴することがないように努めなければならないと定めてあります。また、子どもが使用するスマートフォン等のインターネット利用を含む契約時に、フィルタリングサービスを使用しない又はフィルタリング有効化措置を講ずることを希望しない場合には、携帯電話事業者・販売代理店に対して、正当な理由を記載した書面を提出しなければなりません。

令和5年度 志布志市青少年市民会議提言

家庭部会 テーマ「家庭の取組の充実とそのためのルールづくり」

- 【協議】
- 昔は、一家庭一家庭があった。取り組んでみてはどうだろう。
 - インターネットを長時間する影響についてしっかり伝えることが必要である。
 - 家庭での親子の会話を増やすには、どうすればよいか。
 - 「守ろう9時オフ！」を軸にメディア使用の「家庭内ルール」を作ってはどうか。
 - 親子と一緒に取り組めること決めて取り組む。⇒ 体力づくり、散歩など
 - 本市独自のインターネット調査から子どもの心身への影響が非常に心配である。
 - 家庭での会話を増やすための取組を積極的に行うことが必要である。
 - 普段の生活の中にある当たり前のことを見直し、徹底することが必要である。
 - ⇒ あいさつ、食事、片付け、睡眠など
- 「一家庭一ルール自慢づくり」に取り組む。
- 家庭で会話を増やし、ふれあいの場、お互いの気持ちや分り合える時間をもつために、親子で一緒に取り組むことを決める。
⇒ 体操、読書、散歩など家庭で話し合っ決めて。
- 「守ろう9時オフ！」について、具体的な取組を親子で話し合っ決めて決める。

【提言1】
親子で守ろう我が家のルール～子どもの未来のために～
ルールづくりをとおして、家庭で会話を増やし、ふれあいの場、互いを分り合える時間を設定する。

(学校の取組例)

- PTAや地域懇談会等を活用して、「一家庭一ルール自慢」について話題にする。
- 学校評価の項目に取り入れる。

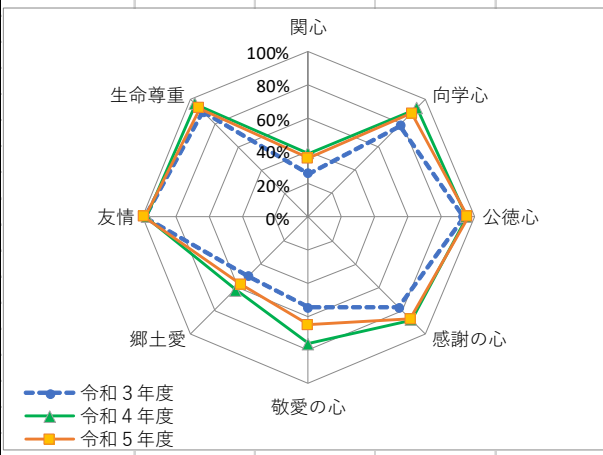
環境浄化部会 テーマ「地域一体となったメディアコントロール」

- 【協議】
- 2時間程度のメディア使用が当たり前となっている。それをどうしていくかが課題である。
 - 自治会の加入率が減ってきている中、状況の把握が難しい。
 - 地域で一体何ができるか、具体的に思いつかない。
 - 地域としては、家庭が見えない状況にある。行事に不参加や未加入の世帯が多い。

有明中学校保護者

肯定的意見 % (小数第1位まで)

	関心	向学心	公德心	感謝の心	敬愛の心	郷土愛	友情	生命尊重
令和3年度	26.4%	77.9%	93.1%	77.0%	54.5%	50.6%	98.9%	89.7%
令和4年度	38.8%	92.6%	95.0%	87.5%	76.3%	62.0%	97.5%	96.3%
令和5年度	35.3%	88.2%	95.7%	86.8%	64.7%	57.4%	98.6%	92.8%

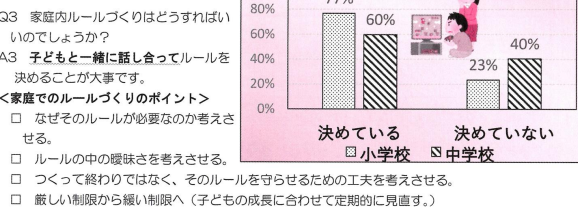


- 1 道徳科の学習についてお子さまと話すことがありますか。
- 2 お子さまの将来の夢や目標について話をしたり、アドバイスしたりしていますか。
- 3 社会や学校のきまりの大切さについて話をし、規則を守るよう言い聞かせていますか。
- 4 これまで育ててくれた家族(祖父母等も含む)に感謝するような話をしたり、機会を設けたりしていますか。
- 5 地域社会に尽くした先人や高齢者を尊敬し、親しみの心をもつような話をしたり、機会を設けたりしていますか。
- 6 地域の文化や自然を大切にしよう話をしたり、機会を設けたりしていますか。
- 7 友達を大切にしよう話をしていますか。
- 8 命の大切さについて話をしていますか。

「志の心」意識調査保護者70人の結果です。道徳科に関する話についてや郷土についての話などが少ないと感じているようです。ご家庭でも話題にして頂きますようお願いいたします。

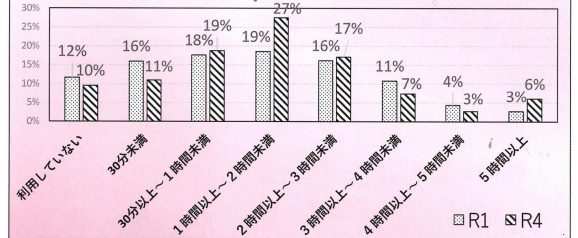
志布志市青少年市民会議提言がされています。各ご家庭での取組はいかがでしょうか。子どもたちの健全な成長のために、再度ご家庭での取組を進めてください。

3 あなたの家では、インターネットの使い方について家庭内ルールを決めていますか。



<家庭内ルールの例>
× インターネットを使わずに済ませる。⇒ ○ 使ってもよい時間は△時～△時まで
× 宿題が終わった後、ゲームや動画を見る。⇒ ○ ゲームや動画は宿題が終わった後1時間以内
<ルールを守るための工夫例>
□ 10分前のアラーム設定や声掛けを行う。
□ 使用する前に、約束事を復唱させる。

4 あなたは、平日に平均してどのぐらいの時間、インターネットを利用していますか。(小学生・中学生の平均値)



インターネットやゲームは日々の生活や学習に役立つツールですが、使用時間や方法を適切に管理することが重要です。保護者としては、一日のスクリーンタイムを制限し、休憩時間を設けるなどのルールを設定しましょう。また、子どもたちのオンライン活動について対話を持つことで、健全なインターネット利用の習慣を育めます。最終的に、子ども自身が自己管理できるようになることを目指しましょう。子どもが安全かつ健康的にインターネットを使うために、**規律・監視・教育のバランスが大切**です。
◎ メモ(感じたことや話し合っことを記入しましょう)

- SNS利用の怖さを考える機会をもつ。
- 被害にあったときや困ったときに、気軽に相談できる地域の方との関係性をつくる。
- 学校・地域・家庭の情報共有を行う(学校運営協議会を活用)。
- ペアレンタルコントロールを確実に行うように周知する。
- 親子で話し合っフィルタリング設定やメディアの使い方のルールづくりを行う。
- 行事や会合の機会にフィルタリングやメディアの使い方について話題にすることで、意識を高める。
- 学校教育の中で、メディアコントロールについて学習する機会をもつ。

【提言2】
あらゆる立場で、あらゆる場面をとおして、メディアとの付き合い方についてふれるようにし、学ぶ機会を設定する。

(学校の取組例)

- 地域懇談会で、メディアコントロールを話題にする。
- メディアに関する教育活動(講演会)に地域の参加を呼び掛ける。
- 小・中連携で共通実践事項を設定し、実践する。

- 青少年活動部会 テーマ「子ども会や地域の青少年活動の充実」
- 【協議】
- 子ども会や自治会の加入率が減っている。
 - 子どもたちが忙しく、参加が少ない。
 - 中・高生の参加が難しい。
 - 子ども会がなく設立もプライバシー制限で難しい。
 - 家族との時間、スポーツ少年団などで時間がない。
 - コロナ禍で行事や活動がない年を過ごし、復活したくても指導者(後継者)やリーダー不足のためできない。

- これまで行われてきた地域の活動を紹介する機会をもつ。
- 地域の特性を生かし、子どもが引き付けられる活動を子どもたちと一緒に企画する。
- 地域の支援が必要である。
- 活動を充実させるために、企画・運営をする大人が本気で取り組むことが大事。

【提言3】
子どもも大人も本気で楽しめる青少年育成活動の企画や運営に子どもも参画することをとおして、地域に対する愛や誇りを育む機会とする。